

切り花日持ち試験実務マニュアル

平成25年3月20日

平成24年度切り花日持ち保証実証事業

日持ち試験担当者会議編

はじめに

切り花日持ち試験は、日本花普及センターに認定された日持ち試験室で、「切り花の日持ち評価レファレンステストマニュアル(Ver. 7)」に従って運用されているが、日持ち試験室、担当者によって日持ち試験にバラツキが出ていた。これを標準化すると共に実務的に使い易いものとするべく「切り花日持ち試験実務マニュアル」を作成した。各品目は、あいうえお順となっている。

【目次】

■切り花日持ち試験実務マニュアル

総論 … 2 頁

各論 品目ごとの日持ち判定基準 … 3～11

●切り花日持ち試験基準

平成24年度切り花日持ち保証実証事業

日持ち試験担当者会議編

【総論】

項目	試験基準	備考
切り花長	家庭で利用することを前提とし、60cm を基準とする。 ただし、基本的な切り花長が短い品目、あるいは長い品目ではこの限りではない。	
本数	5 本以上を基本とする。なお、下記にあげる品目は最低3本を用いる。 ユリ、グロリオサ、カスミソウ、スターチス、花木等。	
容器	原則として円柱形で凹凸のない透明な容器を用いる。 直径は8～12センチを目安とする。	洗浄し易さを考慮
水量	試験途中で水の継ぎ足しが不要となるよう、十分な水量とする。(目安として1リットル)	
品質保持剤	原則として後処理剤を規定濃度で用いる。	
検定温度	20℃～25℃の範囲を基本とする。ただし、低温期しか流通せず、常温で日持ちの短い品目は 20℃以下も可とする。また、高温期の日持ち保証対策としては、28℃以上での検定が推奨される。	
相対湿度	60%を基本とする。	
光強度と日長	1000 ルクスで 12 時間日長を基本とする。	
日持ち調査	原則として毎日調査し、調査期間は14日後までとする。原則として定時調査とする。 2 日おきとしても十分に予測できる場合は2 日おきも可とする。 ただし、検定開始後の日数経過が少なく明らかに観賞価値が維持されると予想される場合は、調査を省略してもよい。	
切り戻し	行わない。	
水換え	原則として行わない。継ぎ足す必要がある時は、後処理溶液を規定濃度として使用する。	
切り花の調整	水に浸かる葉を落とす。	

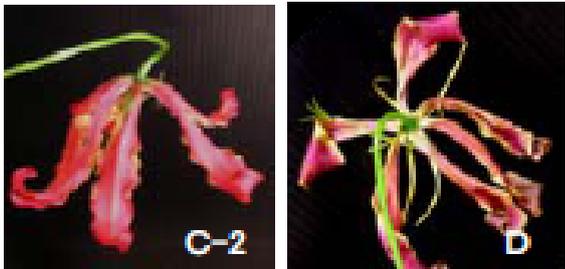
【各論】 品目ごとの日持ち判定基準

日本花普及センターで定められている「切り花日持ち試験レファレンスマニュアル」を基本として、日持ち試験を行うが、ここに定めるものは日持ち試験の終了基準をより分かりやすく簡便にしたもの。

品目	判定基準	写真
アスター	半数以上の小花の舌状花弁が萎れるか褐変する、あるいは開花している小花数が全小花数の半数未満となる。葉が著しく黄変、褐変する。	
アルストロメリア	1次小花と2次小花の総数の半数以上が落下する。葉が著しく黄変する。	
オンシジウム	半数以上の小花が萎れる。	

<p>カーネーション (スタンダード)</p>	<p>花弁が萎れる。</p>	
<p>カーネーション (スプレー)</p>	<p>半数以上の小花が萎れ、褐変により観賞価値を失う。茎折れが発生する。</p>	
<p>ガーベラ</p>	<p>舌状花弁が著しく退色、或いは花弁が落花する。茎が折れ曲がるか腐敗する</p>	
<p>輪ギク</p>	<p>舌状花弁が萎れる。葉が著しく萎れるか黄変する。</p>	

<p>キク (スプレー)</p>	<p>半数以上の小花の舌状花弁が萎れる。葉が著しく萎れるか黄変する。</p>	
<p>キク (小ギク)</p>	<p>半数以上の小花の舌状花弁が萎れるか、あるいは開花している小花数が全小花数の半数未満となる。葉が著しく萎れるか黄変する。</p>	
<p>キンギョソウ</p>	<p>正常に開花している小花の数が試験開始時に開花していた小花の半数以上萎れるか落花する。茎が折れる。</p>	

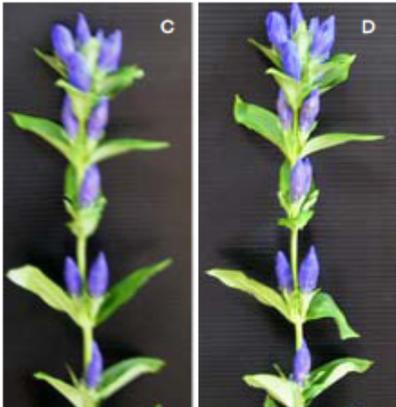
<p>グラジオラス</p>	<p>小花が2輪以下となる。</p>	
<p>グロリオサ</p>	<p>開花小花が1輪以下となる。</p>	
<p>シャクヤク</p>	<p>軽くふれると落弁する。開花せずに花弁が萎れる。</p>	
<p>シュツコンカスミソウ</p>	<p>半数以上の小花が褐変する、あるいは萎れる。</p>	

<p>スイートピー</p>	<p>半数以上の小花が萎れる。</p>	
<p>スイセン(ニホンスイセン)</p>	<p>半数以上の小花が萎れるか褐変する。葉が著しく黄変する。</p>	
<p>スターチス・シヌアータ</p>	<p>がく片の萎縮がほぼすべての花序で発生する。茎葉が激しく黄変する。花首が萎れて垂れ下がる。</p>	
<p>ハイブリッドスターチス</p>	<p>半数以上の小花が萎れる。</p>	

<p>ストック</p>	<p>正常に開花している小花の数が試験開始時に開花していた小花の半数以上萎れるか落花する。茎が折れる。葉が著しく萎れる。</p>	
<p>ダリア</p>	<p>舌状花弁の50%以上が萎れる。</p>	

<p>チューリップ</p>	<p>花被が変色し、萎れる。葉が黄変する。花茎が折れる。</p>	
<p>デルフィニウム</p>	<p>半数以上の小花が落下するか萎れる。</p>	
<p>トルコギキョウ</p>	<p>半数以上の小花が萎れか著しい退色を起こすか、花首が折れて鋭角になり観賞価値を失う</p>	

<p>バラ (スタンダード)</p>	<p>花弁が萎れるか、著しく退色するか、落弁する。ペントネックを起こす。開花せず、乾燥・変色する</p>	
<p>バラ (スプレー)</p>	<p>半数以上の小花が花弁の萎れ、著しい退色、落弁により観賞価値を失う。</p>	 
<p>ヒマワリ</p>	<p>舌状花弁が萎れる。</p>	
<p>フリージア</p>	<p>開花小花が2輪以下となる。</p>	

ブルースター	正常に開花している小花の数が試験開始時に開花していた小花の半数以上萎れるか落花する。	
ユリ	2/3 以上の小花が萎れる。葉が著しく黄変する。	
ラナンキュラス	主花が萎れるか、茎折れが発生する。	
リンドウ	小花の半数以上が退色するか萎れる。	
品目統一基準	<p>以下は品目を問わず日持ち試験終了とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 灰色かび病など、病害虫の発生 * 茎折れ * 切り花全体が萎れる。 	